

平成 30 年度 第 1 回魚沼市総合教育会議 会議録			
1. 日 時	平成 30 年 7 月 12 日 (木) 15:00~16:45		
2. 会 場	魚沼市役所 小出庁舎 301 会議室		
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市総合教育会議		
	役 職	氏 名	出 欠
	市 長	佐藤 雅一	○
	教育長	梅田 勝	○
	教育長職務代理人	星 麻衣	○
	教育委員	高橋 昇	○
	〃	浅井 誠哉	○
	〃	八木 由美子	○
	魚沼市 教育次長 堀沢 淳 学校教育課長 風間松司 子ども課長 広井美智子 管理主事 早川政宏 統括指導主事 吉田勇一 指導主事 吉橋 哲 生涯学習課副参事 浅井勝美 学校教育課副参事 須佐光行 学校教育課副参事 松井正人 事務局 総務課長 森山徳裕 総務管理室長 坂大 昇 総務管理室副参事 和田純恵 (書記)		
4. 議事内容	佐藤市長あいさつ 第 1 学校における働き方改革について 第 2 その他 ・その他の事項		
5. 配布資料	(1) 日程及び関係資料		

6. 議事

開会

(総務課長) ただ今から平成 30 年度第 1 回魚沼市総合教育会議を始めさせていただきます。本日の会議の進行を務めさせていただきます、魚沼市総務課長の森山と申します。初めに本来であれば、出席をされている皆さま方、事務局についてそれぞれ紹介をするべきところではございますが、時間の都合もありまして、お手元の席次表で換えさせていただきますことお許し願います。それではお手元の日程に基づきまして進めさせていただきます。最初に佐藤市長がごあいさつを申し上げます。

市長あいさつ

(市長) 昨年 10 月に予定していた第 2 回の会議が台風で中止になってしまい、1 年ぶりの開催です。よろしく願いいたします。

私が今、教育関係で感じているところは、先般新潟の小学生が誘拐され、殺害されたというショッキングな事件があり、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わっていると思っています。また、夏休み前になりまして、生徒の自殺が報道されています。また、西日本の豪雨水害ではたくさんの方が亡くなられた中には、子どもたちも多くいるというように、自然災害も含めて、事件、事故が大きく取り上げられていますので、この地域の子どもたちは、しっかりと我々も含めて地域の皆さん方で守っていくということが大切なのではないかなと思っています。より良い環境の中で児童生徒が学習できる、そういった取組も必要だと思っています。定例の教育委員会の中でも話し合われていると思いますが、行政当局含めて色々なご意見をいただければありがたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

(総務課長) それではこれより議事に入ります。本日の議事の進行は、魚沼市総合教育会議設置要綱第4条に会議の議長は市長が行うということになっておりますので、市長が進行させていただきます。

日程第1 学校における働き方改革について

(市長) 日程第1、学校における働き方改革についてを議題とします。説明を求めます。

(教育長) 今の市長のお話しにもあるとおり、子どもを取り巻く環境、特に安心安全ということが非常に危惧されています。あわせて、国会でも働き方改革が議論されていますが、子どもたちに良い教育をするためには、先生方が元気でなければいけないと思いますので、教育委員会としては、学校の先生方をサポートしていくのが私たちの大事な役目だと思っています。それにしても、教員もブラックと言われて、今年の小学校の採用では、倍率が2倍にも満たない倍率でありました。それだけ教員志向が減少しています。その背景には学校の中の勤務が非常に厳しいのではという気がしますので、今日は実態を知っていただいて、どうしたらもっと学校が元気になるかという観点で話をさせていただければありがたいです。資料は事務局から説明いたします。

(管理主事) 学校現場の過酷化の現状について説明をさせていただきます。(資料「魚沼市小・中学校 長時間労働の是正に向けた教職員の勤務実態調査結果について」説明)

(市長) 市内小学校・中学校の現状について説明をいただきました。魚沼市に勤務する先生方の超過時間数が県平均に比べて長いということは、教員が足りないのか、それとも、他地域と比べて授業数が多いということなのでしょうか。

(管理主事) 教員の割合はどこもほぼ一律ですので魚沼市だけ定員が少ないというわけではないと思います。市独自の授業も他の市よりも多いとは思っていないのですが、授業の準備、部活動に熱心で一生懸命頑張っておられる先生が多いのかなと感じております。

(市長) 冬場の降雪時期は雪の作業があり、そっちに労働を費やさなければならぬということがあるかもわかりませんが、それ以外ではどういうことなのでしょうか。

(教育長) 真面目な先生が多いのかなと思います。以前は1週間の時間表が決まっていたのが良かったのですが、今は、金曜日に次の週の予定を配布します。その他に学級だよりや学年だよりの発行があります。よく発行する先生は一生懸命な先生だと保護者は見る傾

向があるので、兄弟がいると比較されそれを意識して発行する。そういう時間にとられるのもあるのではと思っています。その辺をなるべく削減、スリム化して次の授業の準備をするように先生方も働き方を変えているのですが、親の理解を気にして一生懸命の先生方もいるかなと思われま。

(市長) この中学校の先生はバスケ部の顧問でありながら合唱コンクールも見ているとなると、時間外の勤務がどうしても多くなるという気がしているのですが、一人の先生が部活や色々のことに関わると負担が大きくなるのは確かだと思います。従って部活の部分を例えば、市民の方にシフトできる仕組みができれば変化が起こせるかなという気がしております。スポーツも音楽も能力に長けた人がいると思うので学校に関わる人がいれば、先生方の負担も少なくなるのではないかと思います。

(教育長) 今、中学校は部活も大きなウェイトを占めていると思っています。中学校で外部コーチをお願いしている状況ですが、堀之内中学校では野球、男女テニス、バレーボールの4人が外部コーチに入っています。広神中学校では男女のバスケ、野球、女子テニスの4名、小出中学校は剣道、柔道、男子ソフトテニス、女子バスケの5名、湯之谷中学校では剣道1名、守門中学校ではスキー、男子バスケ2名となっています。普段から先生方のサポートはしてくれている人はいますが、主になる学校の先生方が少しでも負担軽減するためには今の外部の方たちが、土日など、先生がいなくても指導できるような体制が組めれば大分違うのではと思います。どのくらいそれが叶うのか、予算的にはわからないのですが、是非ともそういう方向で進んでいきたいなと思っています。

(市長) 外部指導をできるような資格取得の場合のソフト的な取組はあるのですか。

(教育次長) それを今模索している最中です。土日では指導者がある程度集め、その指導者を中心としてもっと広めていくということができないのではないかと、ただし、さすがに市長もお分かりのように、それなりの資格を取っていただくということになると、職業を持っている方にとっては相当な覚悟が必要でこれから体育協会とかを含めながら模索していく必要があると内部では話をしていますが、現実にはちょっと難しいのかなとも思われま。

(市長) 民間の会社勤めをしている方が仕事終わってから平日に部活をお手伝いするのはなかなか難しい話です。やるとすれば土日という形になりますが、今、子どもたちが大会をやるときには、日曜日を避けて土曜日開催と言われているみたいです。資格取得については、無資格でやるということは、お願いをする学校側にはリスクが大きいという気がしますので有資格者を育てて、地域で活動してもらえるとありがたいのかなと思います。体育部活については日体協の資格制度があり、それなりの講習を受ければ資格取得ができますが、他の吹奏楽だとかは資格がなくてもいいので、体育部活だけの話ではないと思います。地域を巻き込んだ取組はこれから考えないといけないような気がします。地域力を生かすということを含めて取組ができればいいなと思います。

(教育長) 小出中学校は学校後援会があって、全くのボランティアではなくそこから少しお金が出ています。県でのスポーツエキスパート事業もあります。魚沼市では8名が登録されています。5万5千円の内、市が半分を負担しています。全部ボランティアということでは大変だと思うので、県から外部コーチへの額が少ないのであれば、市からの

若干の補助もお願いしたいと思います。

(市長) 全体的に魚沼市内は有資格指導者が少ないと言われている地域でした。今はどう
いう実態なのか。認定指導者がいないとスポーツ少年団が結成できないことになってい
るので、日体協のスポーツ少年団本部に登録していれば必ず認定指導者がいるはずなの
です。毎年、資格の更新もしているかと思います。指導者資格がないと、チームを連れ
て全国大会へ行くことができない。指導する人はそういう人たちでないと責任が持てな
くなる、お願いをした学校側にも責任が出てきます。

(教育長) そういう方がいらっしゃるかこれからアンテナを張っていきます。

(市長) ここで事例を出していただいたのを見ると先生方の部活の負担が大きいと。それ
が減ればある程度は時間的にも余裕が出てくることになるかと思うので、小学校の担任
の先生も、外からお手伝いしていただければと思います。

(教育長) 先生方が仕事をスムーズにするために教育委員会が考えていることがあるので、
説明させていただきます。

(須佐副参事) 学校におけるICT環境整備について説明をさせていただきます。本日の
テーマである学校における働き方改革と関連する部分もありますので説明させていた
だきます。(資料「学校におけるICT環境整備について」説明)

(市長) 教育現場の中で最先端の機器を使っての授業は苦手な先生にとっては負担になる
し、これに取り組みばすべてがクリアされることではないと思います。そしてその部
分をケアしていかないといけないと思っています。県下の中で統一したシステムで動か
ないと、先生は学校を異動するたびにシステムが違うのでは右往左往して、それに費や
す時間が非常に無駄な時間で過酷な労働にもつながります。今頃こんな話をしている
こと自体が私にしてみれば本来おかしいことで、機械が先行し、全てがバラバラに新しい
取組をしていくからそういうことになっているので、早期に課題を出して訴えていかな
ければならない話だったのではないかと思います。問題解決になりそうなのだけど、
負担になるというリスクも考えていかないといけない。教員がすべて同じレベルの同じ
能力を持ってやっているわけではないので、高齢の教員の方は対応するのが大変という
傾向にあるのではないかという気がしています。そういう現場の状況をきちんと把握し
て聞き取りをしながらしていかないと、機械だけ先に投資して期限がきたから今度は更
新ということになると無駄な投資になるとも思っています。子どもたちがどういう環境
の中で教育を受けたら良いのかをまず考えていくことと、それに相反して教員の負担も
大きくなっていく可能性もあるということですので、勉強会も含めて仕組みづくりをし
ていかないといけないと思っています。

(教育長) 全くその通りで、負担を感じている高齢な先生方もいらっしゃって、Q&Aを
作成し、研修を進めているところです。

(市長) ICT推進員もいるので上手に使っていくということなのだと思うのですが、先
生方が負担を感じるようなやり方はあまりよくないなという気がしていて、一律にやっ
ていいという話ではないと思います。次の学校に行ったらまた同じように扱えるという
形が一番良いことだと思う。先生の負担が生徒の所に行くのは問題があるという気がし
ますので考えていく必要があるかなと思っています。

(委員) 31年度に新規事業として統合型校務支援システムが共同開発とありますが、今までは、市町村がバラバラだったのでしょうか。

(教育長) その通りです。魚沼市は視聴覚の先生に独自にソフトを作ってもらってそれを使い、湯沢や他の近隣にも共有していました。それを県で統一しようということです。

(市長) 一番は先生方の負担だと思うのです。最初から覚えなければならない、動かせるまでの時間が無駄になってしまいます。統一できればどこの学校に行っても同じ事ができるようになります。29団体とはどういうことですか。

(須佐副参事) 新潟市だけが入っていません。

(市長) ほぼ県内をクリアしているということで共同化を検討とありますが、検討してどのくらい時間がかかるのですか。来年度入れられる予定になるのでしょうか。

(須佐副参事) 秋にもう1回情報提供依頼を行い、そこで見積もりを徴取することになっています。それを見て自治体の方で、来年度予算化するかしらないかの判断になります。そこで参加する自治体が決まるというスケジュールです。

(市長) 教育委員会として他に課題となっていることはありませんか。

(教育長) 今、学力について頑張っているわけですが、特別支援学級の介助員を今年2名増やしていただいて27名となっています。実は学校からはさらに10名ほど増員の要望があったわけですが、予算的には厳しいということでした。ただ、普通学級の子どもの中にもよく見ると、学力的にも個別支援が必要な子どもが何人かいるわけで、学級担任はそれを全部含めて見るというのは、子どもたちにとっても大変なので、できれば普通学級の中にも個別に面倒を見られるような介助員、教育支援員、補助員と言っているのですが、そういう人たちを学校に配置しないと厳しいかなという気がします。

(市長) 私も一日中入れなくても曜日を決めて入れる人がいれば負担が減るのかなと思います。通常の学級担任は子どもたち全員に均等に指導する、遅れてくる子どもはどうするかという話になると個別指導しかないのかなと思います。教育OBも含めてお願いできるでしょうか。

(教育長) 教員OBの3名がボランティアで日中に入っていていただき助かっています。学級に入れない子どもの別室指導員と言っていますが、授業の中で静かにしているけれど勉強がわからない子もいますし、理解を進めるには担任だけでは厳しい現状です。

(市長) 介助員、補助員の教員資格はどうなっているのですか。

(教育長) 介助員は資格がなくても大丈夫です。補助員は教員資格が必要となっています。

(市長) 教育補助員の人数はどうなっていますか。

(教育長) 教育補助員は4名です。個別の授業中心に見ています。教員免許を有する人と限定してしまうとなかなか今募集しても集まらないのが現状ですので、介助員のように意欲のある方であればいいのかなという気がしています。

(市長) 資格があっても経験がない人も現場を経験していないとなかなか入って来にくいのかもわかりません。

(委員) 先生方の負担を減らすために、今話されていたような人員を増やすという考えもあると思いますが、そうなるとうなつたで、きちんとシステム化ではないですが何か作らないと、入ってはみたものの何をしているかわからないとか、入ってもらったけれ

ど、これをどう頼んでいいかわからないという、頼んだ方も、受ける方もどうしたらいいのかと思う場面を時々目にすることがあります。人員を増やすなら増やすなりのシステムづくりを徹底していかないと、ただ増やしても子どもも惑うことがあるのではないかと、時々見ていると思うので、単に人間を増やすことばかりが働き方改革につながるのかということでは少し疑問に思うところがあると思います。

部活についても外部の方も非常に一生懸命やってくださっている話はよく聞きますし、見るのですが、外部コーチなので外への大会であるとか、遠征は顧問になっている先生が主となって行ってもらうのが当たり前というような感じで話される方もいるので、そういうところのシステム化なのか、意識改革なのかわかりませんが、始めるのであれば、双方がかみ合わないとうまく連携できないのでは困ると思います。

(市長) おっしゃる通りだと思います。私は、外部指導をお願いするのであれば学校側と指導方針をしっかりと詰めてからスタートしないといけないような気がします。しっかりとした練習メニューも出して、時間内にきちんと終わるような仕組みづくりをしながらやっていく。保護者も部活の顧問の先生も外部コーチに任せておけばいいのかもわかりませんが、それを管理している校長、教頭先生がわかっていないと色々なことが起きてくる可能性があります。今スポーツ界で様々な問題がありますが、過度にチャンピオンスポーツを目指すことになると色々問題があると。子どもたちの身体的な成長も個人差があり、性格的にもそれぞれ違うことを理解しながら指導していかないと間違った方向にいく可能性もあり、それを誰が責任を取るのかということになります。また、以前に、きちんと学校の顧問の先生と話し合ってからでない子どもが迷惑すると言われたことがあって、それは事実だなと思っています。顧問の先生に代わってチームを先導して引っ張っていくということになると、負担が相当重くなるということは理解していないといけないのかなと思います。個人種目と団体種目の目違いもあって、剣道や柔道はどちらかという個人アスリートをつくってあげたいのですが、チームは一つの和なのでその辺は難しく、飛びぬけた力の子やそうでない子もいるので、うまくまとめないといけない。外部指導者が関わるというのは非常に難しいのだけでも何とかしてやらないと先生方の負担は全然減っていかないということになると思います。だから市民力を使うということだと思います。

今後、定例の教育委員会の中でも議論いただいて、解決策が見つからなくてもいいのでまた教えていただきたいと思っています。今課題は出てきたのでこれからだと思います。全先生方が同じ状況ではないと思うので、今後も分析も必要だと思います。

今後、順次冷房の工事に取り組みます。今年は涼しい環境にはならないと思いますが、生徒だけではなくて、先生方にも快適な環境の中で教育できればいいと思います。3年経てば過ごしやすい環境になると思います。

他にはいかがでしょうか。

(委員) 国のスポーツ庁、県の部活動の在り方に関する報告書が出されて、それを受けて今年の3月に魚沼市でも方針を掲げたと思うのですが、それを見ますと、魚沼市としての基本的な考え方として時間や休養日等の方針を出し、この方針に従って校長は各校の活動方針を公表して運用を図っていくと。また、環境整備に向けて部活動の在り方にか

かる検討委員会（仮称）を設置するとありますが、現時点でのこの方針を受けた各学校の現況はどの程度になっているのでしょうか。市が掲げたこの方針に従って部活動に取り組むだけでも相当な減量につながるのではと感じているのですが、せっかく出した方針ですので、これを各学校から努力をしていただく体制づくり、環境づくりを是非お願いします。もし、検討委員会を設置していないのであれば、構成員の中に保護者の方を取り入れてもらいたいと思います。

それらを踏まえた中で、個人的に、5月12日の新聞記事にもありましたが、教職員勤務の多忙の解消に向けて県教育委員会が検討チームを設置して、全県で取り組み始めた。魚沼市の場合はそれに先駆けて、こういう方針を掲げているわけですので市の方針に従って、進めていただきたいと思います。

今現在の教育の在り方を前提にした中では、介助員、支援員の要員を増員すれば幾らか軽減されるということだと思のですが、果たして今の体制の中で、本当に必要なものなのかということ現場の教師の立場から本気で真剣に再考してもらいたいというのが私の個人的気持ちです。時間削減ということになると要員を増員させる、先進的な技術、機械、器具ということに必然的につながって行って、それ以外は考えられないということになってくるのではないかと思います。そうはいっても予算的にも限度があるので、今行われている部分に無駄な部分はないのだろうか、教育レベルを低下させないということを前提に削減できる部分があるとしたら、そういうところを一つでも二つでも削減していくというそういう姿勢も大事ではないのかなと思いますので、そうでないと予算が幾らあっても足りないということになりますので、その辺のところを教師側からも本気で見直していただきたいと思います。

次に去年の教育会議の中での話が出たと思いますが、2学期制の導入です。小中一貫ということも一つの方策としては考えられると思うのですが、これは色々な意味で問題があるのではと思うので、それよりも3学期制を2学期制に変えてみる、このことだけでも教師の負担は相当軽減されるのではないかなと思うのです。実際にそれが負担につながるのかどうかは現場の先生方しかわからないですので、その辺を一つ、正面から先生方に問いかけていただいて、本気で考えてみてもらいたいと思います。

また、部活の朝練習が本当に必要なのかなのかということが私は疑問に思っているのですが、確かに練習時間をそれだけ増やせばそれだけの効果もあるでしょうが、生徒は主体的に取り組むという姿勢のもと意識改革を含め、もっと短時間で効率的に成果を上げていくというようなそういう方法もあるのではないかなとこういうふうに思っていますし、そういう面に取り組もうということで去年から取り組んでいる途中だと思わうのですがその成果がどの程度出ているか。その中に省略という考え方があるのか、私は現場がわからないのですが、生徒と教師が意識改革のもとにもっと効率的な時間の運用の仕方があるのではないかと、こんなことを思っています。是非、湯之谷中学の成果を踏まえた中で、今後検討していく必要があるのではないかと考えています。

夏休み、冬休みの長期休業における学校閉庁日も校長先生が先頭に立って、いついつからいついつまで閉庁にしますと掲げた中で、取り組んでいくことによって、確実に成果につながっていくと思いますので、全学校で取り組んでみたらいかがでしょうか。

県内外の先進的な事例がありましたら、紹介していただいて教育委員会で検討していく中で取り上げてみたらいいのではないかなと思います。

(市長) それでは、現在、部活動の指導方針に沿った指導がなされているのでしょうか。

(管理主事) 昨年の3月に仮の方針ということで主に活動時間と休養日の設定ということで、平日は2時間程度、週休日や長期休業中は3時間程度、休業日については、月曜から金曜の間1日、土日どちらか1日ということで、ただし、部活の繁忙期もあるので、土日の休みは年間を通して50日は確保してくださいということでお願いをして、その文書を3月末に校長あて出しました。校長から4月に職員会議でそれを基に各校の方針を職員に話をしてもらい、各顧問が部活動の計画を作ると。私ども市教委も4月の各校のPTA総会で市の方針を示した文書を作成して、保護者に配ってあります。

その後、校長の監督の下、各校で部活動を推進していると思っていますが、色々な問題が出てきているのも微かに聞いていますので、これから考えていかなければならないと思っています。

(市長) 検討委員会の実態はどうなっていますか。

(管理主事) 具体的には動いていないのですが、教育委員会、学校、職員、それから地区のスポーツ団体ということで構成しようと思いましたが、その中に保護者代表ということで何人か入っていただいた方がいいかなと私も思っています。

(市長) まだそれは構成されていないということですか。

(管理主事) そうです。

(委員) 部活動の改革ということになると保護者の理解は絶対不可欠な要件だと思いますので、ぜひ、保護者も入れていただきたいと思います。

(市長) また、補助員、介助員、支援員等の増員が全ての解決につながらないのではということですが、私もそれは実感しているのですが、教育委員会サイドとしてこれからの方針はいかがでしょうか。

(教育長) 確かに予算は幾らでもあるわけではないし限られているわけですから、実際、現場の声としては介助員、十二、三名は増員要望がありましたが、そのうち2名だけ増やした現状です。学校の方で増やして欲しいという思いは聞いていますが、管理主事、指導主事で学校を訪問して現場を見ながら判断させてもらいます。増やせばいいということではないということもわかりますが、現状としては1人でも多いのが学校ではありがたいと聞いています。

(市長) 教育現場に限らず、市の職員もそうですが、全てが同じ能力をもって仕事をしているわけではないので、能力の長けた人もいれば、それなりの人もそうでない人もいます。求められる人を全て貼り付けて解決するという問題ではないということだとは思っていますので、その中でしっかりと管理をしながらやっていただきたいという気はしています。増員が全ての解決には絶対つながらないと思っています。

(委員) 私もそう思っていて、学校が助かるのか、生徒が良かったと思うかは別だと思うので、本当に学校としては助かるかもわからないけど、それが果たして子どもたちの為になるのかというところは、学校サイドできちんと考えて計画的に関わってもらおうというような、ただ見てもらうだけで助かるのでなくて、その後の成長段階も踏まえて見て

くれる方がいいのかなと思っています。

(市長) 今、教職員の中でも仕事に対する考え方が違ってきている人たちもいるので、それぞれの働き方をどうこう言うつもりはないのですが、そこは学校長、教頭や教務主任が管理していただいて、必要なものは求めていくというのが大事だと思っています。

2学期制はどこか取り組んでいるところはあるのでしょうか。魚沼市だけでなく全県で取り組まないと教職員採用は同じなので難しいと思うのですがいかがでしょうか。

(教育次長) すでに実施しているところは長岡市です。

(市長) 人がやったことを横目で見えていくだけではだめだと思います。実態を調査、分析していくことが仕事に対する意欲だと思います。要領を良くしていけば時間が減ることだとも思います。

(委員) 単純に考えて子どもたちの成績を評価するのも3学期制だと3回しなければならぬところ、2学期制だと2回で済むということだと思います。これは、非常に軽減するのではないのでしょうか。

(委員) 子どもの頃私も2学期制を体験したことがあります。2学期制になると試験の範囲が非常に広がってテスト範囲に泣かされたという記憶があります。3~~学期~~学期制は救いがあるような印象です。

(市長) 昔は、休みは日曜日の1日しかなかった。今は土日が休みなのでリセットするのに2日間、5日間学校で2日休みがあるので意外と昔と今は違うという気がします。ただ、ワンクールが長くなるのでその時間は大変だと思うのですが、毎週2日間のリセットする日があるので、子どもたちが負担に感じるかどうかということがあると思います。その辺も検討の余地があると思いますので、今、長岡でやっているのであればそれをどういう成果が出ているのか。やっているところの実態がわかれば調査してみることが大事だと思います。実施するかどうかは別問題ですので、情報として教育委員会の中でもっているのは非常にメリットがあると思います。

(委員) 2学期制をとっている学校の視察をという話もあったのですが、調整がつかず取りやめになってしまった経過があるのですが、できたら、機会をいただいて行ってみたいと思います。

(市長) 教育委員会の中でも研究していただければありがたいと思います。運動部での朝練が必要かどうか、短時間で効率よくということですが、これについてはいかがでしょうか。

(管理主事) もちろん、単純に考えれば、練習した分だけ子どもたちは上手になって伸びるだろうという考え方ですが、湯之谷中学校で去年から取り組んでおります、自立的な部活動ということで、先生から一方的な指導だけでなく、子どもたちもアイデアを出しながら子どもたちが練習を組み立て教師と一緒にやっというものです。8月に教育委員さんからもご覧いただきたいと思います。

(市長) 私は、朝練は精神修行としては良いと思うのですが、体の成長には絶対マイナスと思っています。体がまだ完全に目覚めていない段階でボールを叩くのはよくない、だから、プロ野球の選手でも朝は散歩です。そこはやはり指導者として考えるべきだと思います。朝は必ず食事を取って、ある一定の時間をおいてというのが本来の形だと思います。

ます。本当は夕方が一番体は起きている状態ですが、部活動が2時間だと、サーキットしてから競技の練習に入るので時間が短く、ちょっときついと思います。アップとクールダウンだけで約40分かかると競技の練習ができない。だから土曜日に練習したいということがあるのです。競技種目によっても取組が違うと思うし、一概に一本の線を引きたくないというのがあるのではないかなと思っています。

(委員) 魚沼市ということではないのですが、子どもたちの話を聞いていると、割と相談で多いのは、中1の生徒です。まだ生活のリズムが整わないからなのではと思いますが、部活と勉強の両立が非常に厳しいと思います。ただ、2年生になると慣れてくるからか段々減っては来るのですが、負担になっているのだらうと思います。

(市長) 中学生は1番体が成長する時期なので大変だと思います。それを含めて、課題を皆さんの中で共通事項としていただけたらありがたいと思います。

長期休暇の学校の対応はどうなっているのでしょうか。

(管理主事) 休み中は確かに研修や出張が多いのですが、魚沼市は閉庁日を3日間設けています。大体13、14、15日に係るような感じで市教育委員会の方からこの日を閉庁日としていいですよということで日直を置かない、ただし、緊急の場合は優先順位をつけて、ここまで連絡してくださいということでやっています。今後、教育長と話をして1日とか2日伸ばしていこうかという話をしています。

(市長) それは通常の夏季休暇のことでしょうか。

(管理主事) 実際そこで休みをとる職員は多いと思います。

(委員) 少し前に閉庁日を伸ばすとプール管理が面倒でという話を聞いたことがあるのですが、いかがでしょうか。

(管理主事) 学校によってだと思いますが、確かにプール担当の先生は行かなければならないかもしれませんが、学校内で順番にすれば、一人しかできないわけではないので、学校のやり方によっては回数が少なくても良いと思います。

(教育長) 学校が忙しい原因の一つに、文科省も言っているように家庭で指導すべきことと学校で教えることを分けなければならないと思うのですが、1日の生活リズム、生活習慣をつけましようといったときに、学校が全部カードを家庭に配って書いてもらっていますし、親は宿題を出してくださいということで先生方は宿題を出しますが、全部丸つけをし、してなかった子は昼休みに残して宿題をさせる、学校で一生懸命あいつやスマホの指導もする、そういうことが全部学校の中に仕組みされてくるので職員はあれもこれもということで保護者への教育も今課題になっていて、そういうことで全部含んで忙しいということになっています。

(市長) 本来の家庭教育と学校教育は完全に分けられないといけないと思うのですが、学校の先生方も自分たちで分けられない。学校にいる時間は学校教育、そこから離れて自宅へ返したら家庭教育なのです。先生も線引きをしないと親はいつまでたっても、家のことであっても学校に何か言えばいいんだとそんな発想になっているのだと思います。学校も家庭の中で育てられないものは世の中に出さないでぐらいのことを言ってもらいたいのかもわかりません。

(委員) 遠足は天気で左右されますが、雨の日に無理に実行したら、そのうちの年寄り

から学校にガンガン文句が来る、先生方も言われたくないから引いていくのが見えていたもので正直言って、変わってきたなと思います。自分が子育てをしていた頃に比べると、全部学校に責任をとることになっているようです。先生方も正直大変だし、私たちも気をつけなければいけないのだろうなと思います。

(市長) 親の教育も必要だと思います。現場は受けて立つのも大変なので、そのことを十分理解してもらえれば、いいのかなと思っています。

県内外の先進地は事例があれば勉強することも必要だと思いますので、検討していただいてこの地域に合うのか合わないのかも含めてよろしくお願いします。

働き方改革についてはここで結論が出ることではないですし、これからも課題で取り組んでいかなければならない問題だと思いますので、教職員の方の働き方がよくなれば地域の子もたちの学校の中で楽しく生活できる環境ができてくるのだと思いますので、永遠の課題になると思うのですが改善できればと思います。

日程第1は他にありませんか(なし)

日程第2 その他

(市長) 大阪の地震の関係で各学校等調査をしました。支障となっているところはできるだけ早く解決するというので取り組んでおりますのでよろしくお願いします。ひび割れしていても倒れると子どもたちに被害が及ぶ可能性のあるものは早急に撤去なり、補強をしていくことになります。

(総務課長) ブロック塀についてですが、市の施設である学校は調査済みです。早く取り壊しをしなければならぬところは一つ、二つ出ていますので、教育委員会と財政当局で話をしているところで、早く決まりになり次第対応させていただきます。また、学校、市の施設以外、民地も関係しますが、通学路、市道、県道、国道の道路沿いの市内全域について、市で7月10日までに調査を行いました。今、その集計を行っています。ブロック塀がどこにあって、ひびが入っているようなブロック塀はどこにあるのか。それらを集計した結果は教育委員会にお届けさせていただきます。夏休みに入りますが通学路のチェックについては必要があれば教育委員会の方で考えていただければと総務課では考えております。

(市長) 道路沿いはほとんど市民が造ったものでなかなか公共的なものがないので、市の方で対応するよりは、改善勧告しかできないのかなという気がしています。大阪であったことはこっちでも起こる可能性がありますので、事件、事故が起きたときは自分の身にも降りかかるということを想定していかないといけないなと思っております。

その他に何かございませんか。(なし)

(総務課長) 慎重なご審議と活発な意見交換をいただきありがとうございました。第2回目については、日程も含め詳細は未定であります。今後、事務局で検討、あるいは、市長、教育委員の皆様からご意見を伺いながら今後調整させていただきます。本日の会議録は事務局で調整させていただき、皆さまからご確認いただきたいと思います。これもちまして、第1回魚沼市総合教育会議を閉会とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。